

## 平成30年度 第1回美術館セミナーの報告

- 1 日 時 平成30年 8 月 8 日 (水) 10 : 00 ~ 12 : 00
- 2 場 所 茨城県近代美術館 地階講堂
- 3 参加者 合計163名
- 4 活動内容
  - 9 : 30 ~ 10 : 00 受付
  - 10 : 00 ~ 10 : 20 諸連絡  
美術館と学校との連携事業紹介
  - 10 : 30 ~ 12 : 00 美術教育講演会  
「子供たち一人一人が自分としての意味や価値をつくり出す創造活動」  
講師：東良 雅人 氏 (文部科学省初等中等教育局 視学官)

今回のセミナーは、授業の様子や生徒の作品を動画や画像で見せながら学習指導要領改訂の内容を分かりやすく説明していただきました。

図工・美術は、様々な学びの扉と子どもたちを出会わせるのが大切。それは、『作品を制作する扉』だけではない。成長したときに、表現や美術を仕事とする子どもばかりではない。一人一人の美術や美術文化との関わりは多様である。アイデアを得たり、プランニングをしたり、鑑賞を楽しむこと、生活を豊かにするために部屋に絵を飾ることも美術との豊かな関わりである。また、日常生活でコップやカーテンを選ぶときなどの様々な形や色にこだわって選ぶ関わりもある。美術の様々な扉のうち、どこを開けるかは子どもたちが決める。ただ、出会いがなければ開けようがないので、学びの扉と子どもたちを出会わせるのが先生方の役目です。

図工・美術が専門外の参加者も多く、例を挙げながらの解説は分かりやすかったです。東良先生の話術もすばらしく、好評でした。

運営面では、受付時に回収する芸術鑑賞補助申込書の忘れ、記入漏れが目立ちました。案内文書に分かりやすく記載したいと思います。

